

松谷会長記者会見の概要

日 時：令和3年10月13日（水）15時00分～15時12分

場 所：（オンライン記者会見）

記者：

3点伺いたい。1点目、日本銀行による上場投資信託（ETF）の買入があったと思うが、その回数と、金額がいくらだったのか。2点目、ETFは先月資金流出であったが、資金流入に転じており、背景を教えてほしい。3点目、公社債投信において相当規模の資金流入があったと考えるが、この背景を伺いたい。

川本統計情報室長：

1点目のご質問であるが、日本銀行の買入は9月に1回、701億円であった。

市倉広報部長：

2点目のETFへの資金流入は2か月ぶり。要因の特定はできていないが、機関投資家による裁定取引等の買い需要があったものと推測される。

川本統計情報室長：

3点目の公社債投信に関しては、JPXが公表した「投資部門別売買状況」によると、個人投資家による9月の株式売買が約5,000億円売り越しており、その売却代金の一部がMRFに流入したこと等が要因の一つと考えられる。

記者：

MRFについて2点伺いたい。1点目、純資産総額が約4,500億円増加しているが、最近の傾向と比較してどのような規模か。2点目、14兆円弱の残高は、過去のピークと比較してどのような規模か。

市倉広報部長：

1点目のMRFの純資産総増加額（純資金流入額）は2020年11月（7,764億円）以来、10か月ぶりの規模である。2点目の過去のピーク残高は、2021年2月の14兆2,551億円である。

記者：

今回の残高規模は、ピークには及ばないものの、株式等の売り越し要因もあって高水準の金額であり、待機資金が積みあがっている状態、との理解でよいか。

市倉広報部長：

ご認識の通りである。

以 上